

日本学術会議 議事録

会議の名称： 経営学委員会 「AI・IT等の普及による経営実践・経営学・経営学教育への影響を検討する分科会」 (第25期・第1回)	
(1) 幹事会 (2) 部会 (3) 連合部会 (4) 委員会 (5) 分科会 (6) 小委員会 (7) 小分科会 (8) 若手アカデミー	
開催日時	令和3年2月13日(土) 13時00分～17時00分
開催場所	オンライン会議にて開催
出席者	野口晃弘 朝日弓未 太田康広 恩藏直人 加藤志津子 齋藤真哉 阪 智香 佐々木郁子 佐藤信彦 鈴木久敏 仙石正和 椿 美智子 徳賀芳弘 原 良憲 オブザーバー・話題提供者： 影広達彦(株式会社 日立製作所)、川上登福(株式会社 経営共創基盤)
欠席者	
議事概要	1. 分科会役員選出について 委員長に原 良憲委員、副委員長に仙石正和委員、幹事に佐々木郁子委員と椿美智子委員が選出された。 2. 当分科会の設置目的について 原委員長より当分科会の設置目的について説明があった。 3. 第25期に重点的に取り組むべき課題に向けてのヒアリング、討議 下記2名のオブザーバーによるAI、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の現状と今後の展望に関して話題提供を受け、今後の進め方の討議を行った。 (1) 日立製作所 影広達彦氏「AIコア技術、データサイエンスのご紹介」 (2) 経営共創基盤 川上登福氏「AI・DX」 話題提供(1)に関しては、AIによる結果の理由づけ、説明責任、グローバル化の視点、マーケティング応用、データ流通の取り扱い、人材育成組織、特徴量の見える化と説明能力の向上などに関する質疑、意見交換がなされた。また、話題提供(2)に関しては、ビジネスモデル、意思決定プロセスへの影響、予測、プラットフォームとの関連、教育制度とAI活用、人材育成、産業構造の変革、業務プロセス改善、組織能力、企業文化変革などに関する質疑、意見交換がなされた。 4. その他 ・本分科会の名称の略称を検討 ・次回分科会については、日程、テーマ等を別途連絡
以上	
<input checked="" type="checkbox"/> 出席者全員が確認しました。 <input type="checkbox"/> 議長の承認を得ました。	